

令和 3年度

事務事業評価表 (令和 2年度 の実績評価)

記入年月日
令和 3 年 4 月 1 日

事務事業名		森林愛護隊助成事業		事業区分		担当	
				新規/継続	継続	事務事業No.	040105000803
政策体系上の位置付け		政策体系上の位置付け		単独/補助	補助	所属課	050101
政策	総合計画の施策名	0401 農林業の振興				課長名	農林課
体	政策名	04 活力ある産業のまちづくり				グループ	農林G
系	施策名	01 農林業の振興				担当者名	
	手段名	05 ⑤森林(里山)の保全と魅力づくり					
財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計
	01	06	02	01	02	00	林業総務事業
法令根拠	森林愛護運動推進事業費補助金交付要項、桜川市補助金等交付規則						
[Do]	1. 事務事業の現状把握(その1)						

手 段	①事務事業の概要(事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	地域の自然環境保全活動を行っている森林愛護隊(緑の少年団)に対して助成を行うことで、森林愛護隊の活動をサポートし、地域の自然環境保全に努めるとともに、隊員(団員)の自然を愛する心を育成する。 ・1団体:23,000円 (緑化推進機構:13,000円,市:10,000円)		各森林愛護隊の事業計画及び経費配分のとりまとめ→内示→補助金交付申請→交付決定→緑の少年団より市に補助金交付申請→事業実施→実績報告	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
各森林愛護隊の事業計画及び経費配分のとりまとめ→内示→補助金交付申請→交付決定→緑の少年団より市に補助金交付申請→事業実施→実績報告	団体数	団体	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
各森林愛護隊員(緑の少年団員)	隊員数	人	1,008.00	1,008.00	1,008.00	1,008.00	1,008.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
自然を愛し、自らの社会を愛する心豊かな人間に育てる。	活動日数	日	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移				01年度	02年度	03年度	期間限定 総投入量	
				(実績)	(実績)	(計画)		
投 入 量	事 業 費	財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0
			その他	千円	65	65	65	0
			一般財源	千円	50	50	50	0
	事業費計(A)			千円	115	115	115	0
	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人			

02年度事業費 実績(千円)			03年度事業費 予算(千円)		
18 負担金補助及び交付金	115		18 負担金補助及び交付金	115	
合 計			合 計		
115			115		

事務事業名	森林愛護隊助成事業	事務事業No.	40105000803	所属課	農林課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 緑化推進機構との連携により、子供たちに自然とのふれあいの機会を設け、心豊かな人間に育てるために開始した。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 自然愛護活動や森林環境の活用によって、子どもたちに自然の大切さを伝え、心豊かな人間に育てることができる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 自然愛護や森林環境保全の観点から妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 補助金の範囲内で各団体は最大限の成果を上げている。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 補助金の減少によって、活動規模が縮小する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 特になし。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費が補助金のため、削減は活動の縮小、成果の低下につながる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 積極的に活動を実施する団体に活動内容に見合った分の補助金を交付している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	補助内容は適正と思われる。各団体において、より有意義な活動ができるように指導していく。また、森林愛護隊が発足していない小中学校に対して、団体の発足を推進していく。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (複数回答可) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上維持</td> <td>低下</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果		コスト			削減	維持	増加	向上維持	低下		○	×			×	×	×
成果		コスト																			
		削減	維持	増加																	
向上維持	低下		○	×																	
		×	×	×																	
		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果	⑧																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>